

芋井の

地域新聞 イーモイ

創刊号

2024年7月

発行者

いもいりビングらぼ
地域新聞作成班
編集長 村田恵美子

具材が豊富で選ぶのも楽しい

芋井おやき工房

店内に入ると、蒸し立てのおやきの優しい香りが広がります。ここは、長野市桜で6年目を迎えたおやき工房です。

伝田裕子さんをはじめ、松尾さん、清水さん、丸山さん、東條さん、今井さんに話を聞きました。

工房を始めたきっかけは？

「地域の農産物を何かに生かしたい」と思い、加工所でおやきを手作りしようと思ったのがきっかけです。

おやきを作るときに大変なことは？

「破れないよう丁寧に伸ばして丸める」
「ころです。」

おやきの具材には、季節の野菜や地元の特産品がふんだんに使われており、一つ一つが愛情と工夫に満ちています。工房では地元の方々と協力して新鮮な食材を仕入れ、環境にも配慮した持続可能な取り組みを行っているそうです。



一番大切にしているのは「お客さんが笑顔で帰れるよう、温かいおもてなしと愛情のこもったおやきを手作りすること」だそうです。

定番の人気商品は、あんこ、花豆、じゃがコーン。特にあんこは毎回手間を惜しまず手作りしているそうです。こねつけや五目おこわなど、珍しい商品が並ぶ時もあります。取材時には、竹の子やふきみそ、のびろなどの旬のメニューがあり、カウンターに並んだおやきはどれもツヤツヤとして美味しそうでした。

季節のおやきは、旬ごとに具が変わるので、行くたびに新しい発見があることでしょう。「どれを買って帰ろうか」とあれこれ選ぶのも楽しみです。ぜひ、ご賞味ください！



帰郷して早一年。
大自然と故郷に
感謝しています。

ほっこり芋井

影山地区・上嶋ひとみさん



おやき工房の皆さん

・店舗情報 芋井おやき工房

住所：長野市桜833-7

電話：026-237-7669

営業日：水・木

営業時間：70時～74時

～地区探訪～ 上ヶ屋軍足地区



軍足区長
大日方邦忠さん

地区探訪のコーナー。初回は上ヶ屋軍足地区の紹介です。軍足はゲンタリと読み、地区の入り口には伊勢社があり、階段を登っていくと開けた高台になっていて軍足地区を広く見渡すことができます。

区長の大日方邦忠さんによると、このお宮は明治の頃に火事で焼失。大正時代に再建されたとのこと。その後何度か修繕して今の形になっています。

この地域は水が豊富で、近くに水源があって各戸に配水され、地区の人々が自分達で率先して掃除などの管理も行っているそうです。



軍足の伊勢社と鳥居全景



美味しいお米の産地 軍足



軍足地区は土地が平らで、広々とした水田は、軍足田圃といわれ、浦谷地の綺麗な水で作られたお米は驚く程美味しいです。その昔松代藩のお殿様が芋井地区を視察した際に軍足を通ったという歴史もあります。

ちなみに、上ヶ屋軍足、広瀬小軍足、広瀬大軍足、とゲンタリと小字名がつく地区は3ヶ所。同じ軍足なのに上ヶ屋と広瀬に別れているのも不思議で興味深いものがあります。



創刊に寄せて

芋井地域の情報を共有できるツールを創りたいと模索していたところ、私が関わる「シエアビレッジ IZUNA」プロジェクトや「いもいりビングらぼ」の会議において、芋井の地域新聞を創刊しようとの気運が高まり、新聞制作に関してまったくの素人状態ながら、なんとか創刊に漕ぎ着けることができました。

新聞のタイトルとなった「イーモイ」は、聖なる山である飯縄山を意味するとともに、「いい芋井」「いい思い出を」という、住民としての気持ちを含めて名付けました。

芋井のあれこれを知っていただく一助になれば幸いです。

創刊発起人 村田恵美子



いもいりビングらぼより
お知らせ

「みんなで話そう芋井のこと」
日時：8月23日(金)18:30より
場所：芋井公民館

参加は誰でも大歓迎。
地区内外のお知り合いも
誘ってご参加ください。
予約不要・参加費無料